

先駆けを！

夢の実現にむけて！

# 学校報 望 洋

東海大学付属市原望洋高等学校  
編集：メディアセンター

2022年12月19日 第147号

## 2022年度 2学期

### 夏季英語研修

8月24日(水)、東京お台場のTOKYO GLOBAL GATEWAYを会場に、今年度の夏期英語研修を行いました。例年、HTIC(ハワイ東海インターナショナルカレッジ)で海外英語研修を行っていましたが、コロナ禍の影響でここ2年は実施を見合わせていました。今年度、国内ではありますが、生徒の英語力・コミュニケーション能力の育成と、異文化に触れることで日本の文化について見つめなおす機会とすることを目的に何とか実施できました。21名の生徒と本校英語科教員・ALTが参加し、さまざまなアクティビティを通じて英語漬けの1日となりました。生徒たちからは、ぜひまた参加したいという前向きな感想が聞かれました。



### 2022年度 2学期始業式

9月1日(木)、2学期の始業式を行いました。今回も各教室の電子黒板でLIVE配信を視聴する形式です。校長 田中先生から「生活のリズムを取り戻そう」「周りの人たちと様々な場面で話をしよう」「自分の健康に気を付けよう」という講話があり、生徒指導主任 濱崎先生から「ほんの少しの心配りを」「登下校の際などに周りを見て気を配りましょう」という講話がありました。続いて、剣道部「令和4年度第37回千葉県私立高等学校剣道大会女子団体の部」第3位の表彰と第54回ニュース時事能力検定 準2級3級4級の合格者紹介が行われました。生徒たちは、久しぶりに会う友達と楽しく過ごしなが、式に臨んで気持ちを新たにしていました。



### 知的財産講演「文具王」特別講演(2学年)

9月12日(月)、2年生を対象に知的財産についての講演を実施しました。講師は、かつてTV番組で“文具王”となり、現在、文具メーカーとプロ契約を結んで新製品の開発などを行っている高畑正幸先生です。講演は、「知的財産教育の一環としてアイデア商品を開発すること」、そのために「専門家の話を聞いてアイデアの着眼点を見つけること」を目的としています。高畑先生からは、具体的な商品開発の話や日常的に実践していることなど、実体験を交えたお話をいただきました。生徒たちは真剣に話を聞き、知的財産や商品開発について理解を深めることができました。高畑先生、お忙しいところ本当にありがとうございました。



## 知的財産講話 ～ 発明は些細な事 ～

2635 四ツ谷 訓

私の考えていた発明はトーマス・エジソンの「天才とは、1%の閃きと99%の努力である」やニコラ・テスラの「天才とは、99%の努力を無駄にする1%の閃きのことである」のような経験と失敗を積み重ねたものであり、時にはそれらを帳消しにする閃きだと思っていました。しかし、現代の発明には「発明とは、99%の好奇心と1%の遊び心」が必要だと思いました。そう思った理由は、文具王の高畑正幸さんに消しゴムなどを例とした発明の発展についてお話をさせていただいたからです。その話を聞き私が思ったのは、「新しい物を発明する天才は、些細なことに着想を得て発明ができる柔軟性と、日々を楽しく生きることができる人物」なのだと思います。

## 卒業生からのメッセージ（1学年）

9月17日（土）、大学生や社会人として活躍中の本校卒業生から様々な話を聞くことで、生徒たちが自分の将来について深く考える機会とし、進路決定の一助とするために「卒業生からのメッセージ」を実施しました。先輩諸氏の高校時代の悩みや挫折などを乗り越えた体験を聞き、さまざまなことを考えることができました。生徒たちは、年齢も近く身近に感じられる先輩の話に、食い入るように聞き入っていました。3人の先輩の皆さん、ありがとうございました。



## 防災講話

10月13日（木）、市原市危機管理課より石本龍一様・根本淳平様を講師にお迎えし、「自分たちの住むまちの災害リスクと備え」と題して今年度の防災教育講話を実施しました。全校生徒が一堂に会する密を避けるために、1年生のみ講堂で直接講話を聞き、2・3年生は教室の電子黒板にLIVE配信された映像を視聴しました。講話では、市原市でも被害が出た東日本大震災などの話も交えてわかりやすく解説していただき、生徒たちは防災意識を高め、災害に対する知識を深めることができました。石本様・根本様をはじめ市原市役所の皆様、貴重なお話をありがとうございました。



## 防災週間 ～ 防災講話から学んだこと ～

3525 齋藤 陽人

今年度の防災週間は、コロナ禍ということもあり、全校による避難訓練などの体験学習ではなく、防災講話というかたちで、市原市危機管理課の皆さんからお話を聞くことができました。内容は、「自分たちの住むまちの災害リスクと備え」というタイトルで、本校のある市原市の災害リスクや災害時にどのような行動をするべきか学ぶことができました。特にその中でも、風水害発生時に取るべき行動が印象に残りました。風水害の対策には事前の情報収集が必要であり、いつ、どこで、どのくらいの強さで発生するのかを把握しておくことが大切です。私は、テレビもラジオもあまり使わないので、朝のニュースだけでも目を通して、常に災害に備えることを忘れず、自分の身は自分で守れるようにしたいと思いました。

## 建学祭

10月22日(土)23日(日)の2日間、今年度の建学祭(文化祭)を実施しました。今年は、3年ぶりに生徒の家族のみでしたが公開することができ、コロナ禍の前に少しだけ戻ったようでした。各クラス・委員会・部活動が、講堂や体育館でのステージ発表、教室での娯楽・展示と模擬店などに組みました。生徒たちは、来てくれた人を楽しませようと工夫を凝らし、活気あふれる建学祭となりました。



## 2022年度 建学記念式典

11月2日(水)、学校法人東海大学建学80周年記念式典を本校にて行いました。校長式辞では、変えてはならないものである「愛と正義」を胸に輝かしい未来を築きましょうという話がありました。続いて30年と20年の永年勤続者表彰の伝達、建学記念小論文の表彰伝達が行われました。式典終了後には、先月栃木県で行われた国民体育大会で優勝した射撃部の表彰伝達も行われました。



## 甲斐 康浩 教頭先生

2002年4月より東海大学に勤務し20年が過ぎた。「永かったような」「短かったような」そんな20年間でした。東海大学湘南校舎から勤務をスタートし、その後は付属福岡高校、付属甲府高校、そして現在の付属市原望洋高校と4か所で勤務することができた。違う土地で勤務することはとても不安で緊張することも多くあったが、その分その学校のスタイルやルールがあり、色んなことを経験することができ、私自身にとってはとても刺激的で勉強になっている。これから、さらに30年に向けいろいろな経験を積み、常に感謝の気持ちを忘れず、少しでも東海大学の発展に寄与できるよう、精進していきたい。



## 和光 誠司 進路指導主任



30年間の教員生活で一番頑張ってきたと思える仕事は、意外にも“バス当番”です。あの頃は、五井線だけで1000人近い生徒が、今とは反対の五井駅西口から地元のバスを使って登校していました。バス当番を頑張っても、誰も気付いてくれることは無さそうですが、ある日、居酒屋で隣に座ったサラリーマンから“駅での指導をいつも見てるよ、先生の時はきちんとしてるね”と声をかけられました。その方は駅前のパン屋で朝食をとるのが日課で、いつも望洋の生徒と指導する先生たちを眺めていたそうです。私にとってのバス当番は、誰にでも出来るようなことかも知れませんが、誰よりも一生懸命に取り組んできた仕事の一つだった気がします。

## 湯川 千鶴子 先生

今回、永年勤続30年の表彰を受け、色々思い出すと共に、自分を振り返ることができました。この30年浦安高校から始まり、初等中等教育課、同時に、望星高校にも勤務をし、市原望洋高校に勤務をしてきました。いつの時代にも生徒はもちろんですが、お世話になった先輩の先生方、同僚には恵まれたと思います。その先生の一人の言葉で「知っていることは多い方が良い」とおっしゃっていた先生がいました。今は、もうお会いすることはできませんが、この言葉は私をはじめ生徒の皆さんにも覚えていて欲しい事です。「無知」は恐ろしい事である。とは大人になってわかるかもしれませんが、その為にも、今、できるだけ多くの事を経験してください。成功も失敗も全てその人を作っていきます。そして、諦めずに前に進むことを心掛けてください。「人はいつまでも成長できるものである。」一日一日を大切に過ごしていきましょう。



## 2 学年芸術鑑賞会(オペラ)

11月14日(月)、2年生が今年度の芸術鑑賞会として、日生劇場で行われている「ニッセイ名作シリーズ オペラ『ランメルモールのルチア』」を鑑賞しました。当日は、「ニッセイ名作シリーズ」観劇招待800万名達成の日と重なり、本校にとっても記念となる鑑賞会になりました。生徒たちは、オペラ歌手の歌声やオーケストラの演奏、舞台装置や衣装など、さまざまな視点から舞台にくぎ付けになっていました。観劇後には「歌声がすごかった」「とても楽しめた」「また機会があればぜひ観たい」などの感想が聞かれました。貴重な機会を頂いた日生劇場並びにご出演・ご関係の皆様、ありがとうございました。



## 芸術鑑賞会 ～ ランメルモールのルチア ～

2532 宮川 優希

僕は芸術鑑賞会でオペラを鑑賞して、表現力と歌唱力の凄さにとても惹かれました。表現力については、オペラは普通の劇のように人と人の会話ではなく、歌で喜怒哀楽を表現していました。例えばルチア役（高橋維さん）がエドガルド役（城宏憲さん）を殺してしまった時の歌声では、悲しみと哀れみの感情を強く感じる事ができ感動しました。更に楽器などの演奏が加わり表現を一層強めることができているととても良かったです。歌唱力については、女性のソプラノなどがありとても澄んだ高い声が耳に残り感動しました。男性はバスなどで、落ち着いたような優しい歌声ですが、怒りの感情の時は音量を大きくするなど感情ごとに切り替えているのが凄かったです。僕は多分芸術鑑賞会がなかったらオペラを観る機会はなかったと思います。でも、またオペラに行きたいと思えるような良い経験になりました。

## 校外学習（3年生）

### 校外学習3年 ～ ディズニーアカデミーを通して ～

3330 三辻 友哉

私たち3年生は研修旅行の代替として、ディズニーランドへ行きました。この校外学習では、ディズニーアカデミーを通して、将来に対する取り組みや考え方について学びました。キャストさんは笑顔を絶やさず、丁寧な仕事をしていて、社会人に大切なものを学ぶことができました。楽しく学ぶことで普段分からない「気づき」を得ることができ、将来への取り組みの活力となりました。普段、自分たちで行くディズニーランドとは違い、少し独特な感覚がありましたが、クラスの仲間と充実した時間を過ごすことができました。パーク内で会う望洋生は皆笑顔で、校外学習を楽しんで回っていました。研修旅行がコロナの影響で行けなくなった中で、このような機会を設けてくださった学校の先生方に感謝しています。そして、残りの学校生活も充実したものになるように過ごしていきたいと思っています。



## 付属高校生対象 1日看護体験 (WEB)

11月19日(土)、進路指導の一環として、東海大学医学部附属病院とONLINEでつないで看護および看護師について理解を深めるための特別講座を行いました。例年、実際に病院を訪れて看護の仕事を見学・体験していましたが、コロナ禍の影響でここ2年間は開催できませんでした。今年度、WEBではありますがようやく実施でき、看護の仕事に興味を持つ生徒たちが参加しました。生徒たちは話を聞き、進路について真剣に考えていました。医学部附属病院看護部の皆様、ありがとうございました。



## BSSP(望洋特別理科講座)で JAXA を訪問

10月31日、1・2年生のスーパー特進クラスが、望洋特別理科講座(BSSP)でNPO法人宇宙アドバイザー協会代表の富永先生、宇宙アドバイザーの三枝先生に「国際宇宙ステーション(ISS)の役割」について講義をしていただき、ISSのこれからの役割や発展性について考えました。続いて11月9日に宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センターを訪問し、施設見学とスペースドーム見学を通して、「人工衛星の新たな使用方法」をグループごとに話し合いました。宇宙アドバイザー協会の先生方、JAXAの皆様、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



### BSSPに参加して ～ 人工衛星の研究 ～

2813 山口 千尋

私たちはBSSPの活動の一環で、筑波にあるJAXAに行きました。はじめて宇宙服を間近でじっくり見ることができました。宇宙服には鏡がついていたり、体温調節ができる機能がついていて、宇宙服の中で生活ができるということを聞いてすごく驚きました。また、宇宙では早く老化が進んでしまうことが分かっている、これを医療に応用しているということも印象に残っています。学校に戻ってからは「新たな人工衛星の利用方法」についてグループディスカッションをしました。その時に、新しく知ったことをみんなで共有してより理解を深めることができました。人工衛星は今でも様々な場面で活用されていますが、グループごとの発表を聞いて、もっと色々な場面で活用できるといいなと思いました。

## BSSP(望洋特別理科講座)で かずさ DNA 研究所を訪問

11月21日、3年生のスーパー特進クラスが、望洋特別理科講座(BSSP)で公益財団法人かずさDNA研究所に赴き、貴重な講義を聞いたり、実験を行ったりしました。自分の細胞からDNAを抽出し、ALDH2遺伝子を増幅させることで、自分がお酒に強いタイプか弱いタイプかを確認しました。長瀬先生による講義では、DNA研究の歴史や現在のバイオテクノロジーについての具体的なお話を伺いました。また、最先端の設備も見学させていただきました。かずさDNA研究所の皆様、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



### BSSPに参加して

3434 三宅 大輝

今回初めてかずさDNA研究所に行きました。そこでは人はどのくらいの細胞があるのかなどといった自分自身の知らないこと教わったり、アルコールに強い弱いなどのALDH遺伝子に関する実験をしました。このALDH遺伝子は設計図のたった1つのDNA配列の違いで、その働きが変わってしまうといった特徴があるなど、普段学校では経験できないこともたくさん学ぶことができました。また、DNA研究所とバイオテクノロジーの講義では、倫理分野に繋がることやSDGsなど身近に起きている環境問題のことを聞き、私たちが知らないことも聞くことができました。DNA研究所内の所内見学をしたり、研究員の人と休憩時間にアルコールは海外の人が強いなど様々な知識を教えてもらうなど、貴重な体験をすることができました。

### 3 学年芸術鑑賞会(ミュージカル)

11月18日(金)、3年生が今年度の芸術鑑賞会として、渋谷のシアターオーブで上演されているミュージカル「天使にラブソングを ～シスター・アクト～」を鑑賞しました。生徒たちは開演前からワクワクが止まらない様子で、最後のカーテンコールまで大いに盛り上がり楽しみました。劇場・出演・関係者の皆様、楽しい機会をありがとうございました。良い思い出ができました。



#### 芸術鑑賞会 ～ 天使にラブソングを ～

3434 中野 智己

私は今回、人生で初めてミュージカルを観ました。ミュージカルでは、演技と歌、ダンスを同時に行っていて、すごく感動しました。歌の時に、悲しい場面や楽しい場面など、場面によって声質などを変えていて、観る側の人々がすごくわかりやすい演出がされているため、すごく楽しみながら観ることができました。他に驚いたことは、照明やセットなど、場面によって上手く使い分けていたことです。警察署やバー、教会など1つ1つのセットがすぐに変わり、飽きることなく楽しく観ることができました。また、会場も手拍子や一緒に踊ることもあり、すごく盛り上がりしていました。私は、ミュージカルは盛り上がりせず、静かに観るというイメージを持っていましたが、実際に見てみるとすごく楽しく、話の流れも分かりやすくて良かったです。またシスターたちが歌うシーンは圧巻でした。また機会があったらミュージカルを観に行きたいと思います。

### BSSP(望洋特別理科講座)で医学部を訪問

12月7日(水)、1年生のスーパー特進クラスが望洋特別理科講座(BSSP)で東海大学湘南キャンパス伊勢原校舎を訪問しました。東海大学医学部医学科 秦野 伸二 教授に「未知の病の研究」や「医学」と「医療」の違いについて、専門的な立場からの講義をしていただきました。また、施設見学と実験実習を通して、医学についての興味・関心を深めることができました。今後も付属高校のメリットを生かしながら、様々な高大連携活動を行っていく予定です。



#### BSSPに参加して ～ 東海大学医学部医学科を見学して ～

1821 柴田 耀介

今回の講座では、未知の病の研究や医学と医療の違いについて学びました。特に、施設見学ではDNA解析に使用されるサンガーシーケンス、次世代シーケンスや電子顕微鏡など普段は見ることのできない物を見せていただきました。また、研究室では血液中の特定のたんぱく質の濃度を測定し、患者の状態や病気を調べることができることを学びました。その後、実際に血清中の特定のたんぱく質の濃度を測定し、その濃度から患者がどのような状態なのかを調べるという貴重な体験をさせていただきました。これらの体験は大学の学科や大学卒業後の進路を考える上で、大きな影響を受けるものとなり、とても重要な体験となりました。

## 主権者教育(2年生)を実施

12月13日(火)、2学年を対象に、市原市選挙管理委員会事務局より沼澤友佑様、板谷雄介様、濱田光希斗様を講師にお迎えし、主権者教育の一環として模擬選挙を行いました。来年4月以降、誕生日を迎えた者から選挙権を持ち成人となる現2年生を対象に、主権者として政治に主体的に関わることを目的に実施しています。はじめに濱田様より、政治とどのように関わるべきか、実際の選挙とは、について講義していただき、続いて4人の教員が模擬的に千葉県知事に立候補し模擬選挙を体験しました。生徒たちは政治や選挙を少し身近に感じる事ができたようです。沼澤様、板谷様、濱田様、本校の主権者教育にご協力をいただきありがとうございました。



### 主権者教育 ～模擬選挙を体験して～

2314 石村 絆

私は今回の「選挙に関わる講話」と「模擬選挙」を体験し、実際に選挙に参加する大切さや重要さを実感することができました。講話では選挙における年代別投票率で、具体的な数字を見ることで年々若者の投票率が下がってきていることを知ることができました。選挙権を持つ者として選挙に参加し、私たちの意見を政治に反映させることで、よりよい社会が訪れるのだと感じました。自分も来年から選挙権を持つことになるので「政治に参加する」という意識を持って、他人事と思わずに、一人一人の一票が地域や国を動かすという責任感を感じると共に、与えられた権利を大切にしようと思いました。

## 情報モラル教育(2年生)を実施

12月13日(火)、2学年を対象に、KDDI スマホ・ケータイ安全教室認定講師の大久保輝夫様を講師にお迎えし、情報モラル教育講座を実施しました。今回の講座は、公共の場を想定したスマートデバイスの正しい使用方法と、社会生活に必要な情報モラルを習得することを目的としています。生徒たちにとって、身近な実例を交えたわかりやすい講話で、自分のこととして真剣に受け止めていました。終了後、「便利だけど使いかたを間違えると怖い」「気をつけなければ…」などの感想が聞かれました。大久保様、お忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。



### 情報モラル教育 ～スマホの正しい使い方について～

2223 相模 麻那研

情報モラル教育のうち、特にスマホの使い方について学びました。SNSの正しい使い方はとても勉強になりました。まず始めにSNSというものは世界中の誰でも簡単に見ることができるということに注意しなくてはならないと思いました。その中でツイッターやインスタグラムに写真を載せるときに注意しなくてはならないことは写真の中の映り込みだと学びました。窓に反射したものや住んでいる場所の近くのマンホールなどが特に危険だとわかりました。また、スマホ依存にも注意が必要だと思いました。スマホ依存になると脳の一部が縮んで考える能力が低下してしまうとわかりました。このようなことからもう一度スマホの使い方を見直して、今後の人生に活かしていきたいと思います。